

目標達成計画

作成日: 令和2年2月17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化や終末期に向けた方針について、入居期間が長くなると、利用者の重度化が進み、終末期(看取り)支援を行う機会が増えている。早い時期から主治医を含め、ご本人やご家族と話し合いを行い、ご本人、ご家族の意向に沿って、最善の方法を話し合っているが、職員も慣れておらず不安がある。	ご本人にとって、最後までその人らしく、より豊かに過ごせる環境を整える。	チームケアの実践、各職種でできること、すべきことなどを話し合いの場を設けたり、研修を行っていき、職員の知識や経験などスキルアップに努めていく。ご本人やご家族の不安に寄り添えるように援助していく。	12ヶ月
2	20	馴染みの人や場との関係継続支援について、地域のサロンや傾聴ボランティア利用などにより、地域の方々との馴染みの関係が築けているが、その他、インフォーマルサービスの利用が少なく、地域、社会との交流の場を広げていける可能性がある。	ご本人が何をしたいか、何を続けていきたいかを把握し、意向に沿って、希望実現しながら、地域、社会などの関係性の継続ができる。	日々のご本人の関りの中での会話や雑談から、何気ない行動や意見を聞き逃さず、希望を反映していく。地域でのインフォーマルサービスの利用により、地域社会との交流の場を確保できるように職員が情報収集していく。	6ヶ月
3	35	災害対策として、年2回の避難訓練を実施し、職員の意識は高い。運営推進会議を活用し、参加されたご家族や地域の民営委員の方々と話し合いの場は設けているが、全てのご家族や地域の方々への周知、安全対策への理解や連携が図れているのかどうか不安が残る。	災害時に地域の方々やご家族との協力体制をとり、安全に避難できるようにする。	実際に行っている避難訓練について、周知し、参加できるご家族にも参加していただき、避難方法や避難場所など理解の場を設ける。運営推進会議等活用して、ご家族や地域の方々も含め実際に防災訓練を行い、安全対策を考える。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。